

# 未来の展望

## 大いなる未来に向けて 2009年の事業展望

### クリーンエネルギー産業クラスターの形成

適切な土地にクリーンエネルギー産業専門区を設置して、太陽電池、燃料電池、再生エネルギー転換設備、ソーラーシステム、その他のクリーンエネルギー産業を発展させていきます。クリーンエネルギー産業関連の生産設備・機械企業を誘致し、クリーンエネルギー産業の生産コストを低減させるとともに、必要なサービスへのアクセスの良さで、より多くのクリーンエネルギー企業の誘致を図ります。

そのほか、核エネルギー研究所が設置した高集光ソーラー発電高科検証発展センターにも協力し、国際規格の高集光ソーラー発電モジュール検証制度を立ち上げると同時に、関連技術の移転と技術協力により、人材を育成し、企業投資を呼び込むことで、国内の産業サプライチェーンを整備し、台湾南部の太陽エネルギー産業の発展を促進させます。

### 医療器材産業クラスターの発展

台湾南部の伝統的な中小製造業の持つ技術と価値に発展の機会を与え、また、高雄園區の積極的な開発のため、2009年からの4年間「南部バイオテクノロジー医療器材産業クラスター発展計画」を実施します。これは、台湾南部の学術研究機関の経験と伝統産業である精密機械製造業の融合により、ハイレベルな歯科、整形外科、医療用の合金や美容医学その他、発展可能性の高いバイオテクノロジー医療器材と、人才の育成を発展させようとするもので、計画完了の3年後に年間生産額300億円、メーカー50社に経営転換、アップグレード拡張、新規設立（うち15社は高雄園區の企業）を指導し、投資促進金額は150億円とすることが見込まれています。

### 固本精進計画の推進

入居企業の研究開発力を維持し、産学協同で将来

性のある革新的な研究開発を行い、産業競争力を向上させることを目的に、国科会は「固本精進（基盤を固めながら、さらに進歩させる）計画」を提出しました。各管理局もこれを支持し、学術研究界とハイテク企業の共同提案とされた本計画は、企業の開発スタッフを研究開発の主力として2009年から試行が始められ、一件当たり3,000万円を上限に補助金が支給されることになっています。

### 南科を体験して貰い、国際的知名度をアップ

国内外の皆様にも南科の産業クラスターの発展状況について理解を深めてもらうため、南科管理局は一連の訪問イベントを企画しています。「国科会50の旅」活動とも協力して、2009年3月より7回の南科訪問イベントを開催いたします。このイベントの開催を通じて、国内の皆様にも南科の科学技術の発展と人文知識の豊かさを理解してもらいたいと考えています。

そのほか、継続的に海外のサイエンスパークと協力の覚え書(MOU)を結び、世界の産業界との交流と提携も促進します。

### 「優良貿易ネットワーク計画」によるAEO認証の推進

全世界が国際物流やサプライチェーンの確実性というテーマに高い関心を寄せる中、「貿易の利便性」と「貿易の安全性」は各国政府にとっても重要課題となっています。今後、輸出する際の生産、運輸、保管などのすべてのプロセスで、輸出国税関の認証が必要となる流れに対応するため、経済建設委員会も積極的に「優良貿易ネットワーク計画」を支持し、その宣伝普及を続けていくほか、入居企業のAEO認証取得に向けた指導を専門の学術機関に委託しております。安全面のコンプライアンスに優れた企業にAEO資格を与えることによって、南科の企業の輸出貨物に対する輸入国での通関が円滑化し、貿



▲台南園區道爺湖そばにある緑あふれる歩道及び自転車車道

易競争力も向上することが期待されています。

### 安全、健康の促進、永続的な環境保全

安全な作業環境を作るために、園区ではハイリスク危険因子調査および実地指導・診断を実施し、園区内のハイリスク作業に関する標準工業安全基準を策定し、その成果を入居企業と共有します。別途、2000年に經濟部工業局の環境管理システム(EMS)モデル計画で示された企業環境報告書指導要領を参考にして「南部科学工業園区環境報告書」を作成し、南科が改善を続けていく約束と、その成果を公開し、環境を維持しながらの発展という園区の長期目標を達成します。

### 園区の主要建設事業の完了

#### 台南園区

- 2009年8月には、第二期基地污水处理場第一期工程が完了し、40,000CMDの污水处理施設が使用可能になる予定です。
- 2009年10月には、南側道路と南口ゲートのイメージ景観工事が完成する予定です。これは、南科が「生産」、「生活」、「生態」が一体となった優れた科学園区を目指して発展していくことを象徴したものです。
- 2009年6月には西口ゲートのイメージ景観工事が完成予定となっており、南科西口ゲートの鮮明なイメージを作り上げるとともに、自転車での園区の自転車道路システムへの乗り入れが便利になります。

#### 高雄園区

- 2009年9月に使用開始予定の第二期標準工場は、南、北の二棟で計32ユニット、各ユニットの室内面積は約500m<sup>2</sup>あり、駐車場329台分とバイク駐輪場264台分を併設しています。

- 2009年3月3日に高雄園区と中山高速道路(国道1号線)の連絡道路が全面開通し、高雄園区の交通がさらに快適なものとなりました。

### 自転車レンタルシステムを導入

通勤用、レジャー観光用の自転車道路システムを拡大し、自転車レンタル業者も誘致します。台南園区でこれまでに整備が完了した景観資源と道路システムの結合により、台南園区のアクセスと観光レジャー機能がさらに健全なものとなっていきます。

### 南科の魅力の推進—公共芸術

「公共芸術計画—装飾芸術フェスティバル」を公共芸術計画の先駆けとするとともに、公共芸術地域ワークステーションを設置することで、各分野の芸術家、入居企業、園区のスタッフと地域住民のコミュニケーションの場を作り、今後公共芸術を設置する場合の参考とします。

### 国立南科国際実験高等学校を發展させる

2009学年度、高等部は第2期生となる学生を3クラス募集し、初等部は1クラス増やして各学年7クラス体制にします。全校クラス数は82クラスに、生徒数は2,300人に増えます。

教育内容は引き続きPBL(問題基盤型学習)プログラム、CTIエリート教育計画、読書推進計画を実施し、国際交流活動も続けていきます。その他、高等部では「国際競争力養成のための実験教育計画」を推進し、中等部では「管弦楽実験教育計画」と「理数科実験教育計画」を実施します。さらに、全校で「科学教育週間」イベントを開催し、「国際、科学技術、アイデア」の教育ビジョンを実現することに努めていきます。

高等部校舎は2009年の第3四半期に運動場と式典台が完成し、2010年8月に全工事完了の予定となっています。



△健康生活館内の温水プール



△台南園区西拉雅廣場



△南科国際実験高等学校のキャンパス